2027 年度 FIT 入試第 2 次選考概要（A 方式）＜参考＞

2026 年 9 月 19 日（土）に実施された慶應義塾大学法学部 FIT 入試（A 方式）の第 2 次選考の概要は、次の通りです。

１. 模擬講義の概要
■ 講義のテーマ
現代宇宙活動におけるジレンマをどう解決するか

■ 講義の概要
０　はじめに
１　宇宙活動に対する規律の変遷
２　宇宙活動と法的対応のギャップ
（１）宇宙デブリ問題
（２）宇宙の混雑化問題
３　まとめ

＊大学 1 年生が受講して理解できるレベルの講義（50 分）を行う。

２．論述試験の概要
■ 論述の設問内容
「講義では、対等な当事者が各自の利益だけを追求すると、全体の利益が損なわれる状況を説明した。これと同様の構造をもった社会的課題を取り上げ、その問題状況を説明し、解決の方向性を示しなさい。」

■ 解答の形式 A 3 原稿用紙形式・2240 字以内。
■ 試験時間　45 分

３．口頭試問の概要
　教員から口頭で以下の問題を与え、受験生に自分の考えを述べること、また、教員からの質問に応答することを求めました。

■ テーマ（法律学科）
「現代社会では、インターネットを介した取引の進展により、物やチケットの転売が容易になっています。現行法上、チケットなど一部の例外を除き、転売そのものは違法ではありませんが、高額転売は悪であるとする主張も根強くあります。高額転売の規制に対する賛否双方の論拠としてどのようなものが考えられるかを明らかにしつつ、あなたの意見を述べてください。」

■ テーマ（政治学科）

「日本における国政選挙での投票率は低いとの指摘があります。投票率が低い水準にとどまっている原因として考えられるものを多く挙げてください。また、投票率向上のための方策も、現状の制度を大きく変更するものも含め、なるべく多く挙げてください。

ただし、低投票率の原因およびその向上のための方策について、それぞれをただ列挙するのではなく、なぜある要因が投票率を低くしているのか、そして、なぜある方策が投票率の向上につながるのかを説明してください。また、投票率向上の方策については、その方策を実現する際の課題や、その方策の有効性に関する限界についても、必要に応じてあわせて論じてください。」

■ 口頭試問時間 約 15 分